

新作能舞

三醉人夢中酔吟

—李白と杜甫と白楽天—

第一部 『琵琶三秘曲』

—流泉・啄木・楊真操—

楽琵琶 — 岩佐鶴丈

新作能舞

第二部 『三醉人夢中酔吟』

—李白と杜甫と白楽天—

李白 — 野村四郎
杜甫 — 櫻間金記
白楽天 — 山本東次郎
能管 — 松田弘之
尺八 — 設楽瞬山
打楽器 — 榑 政愛
作・演出 — 笠井賢一
衣装 — 細田ひな子

2012年1月27日(金)

時間：午後7時開演(開場30分前)

会場：鏡仙会能楽研修所

入場料：5000円

お申込先：アトリエ花習

TEL 090-9676-3798
FAX 03-5988-2810



杯をあげて
明月をむかえ

第一部

『琵琶三秘曲』

— 流泉・啄木・楊真操 —

伝承の途絶えた秘曲の一挙演奏

八三八年、遣唐使の藤原貞敏が唐の廉承武から伝授された三秘曲で琵琶の名器青山、玄象とともに、日本に持ち帰った。この秘曲はあまたの芸能の奇瑞譚を生み能の題材ともなったが秘伝のあまり伝承が途絶えた。復曲された三秘曲の一挙演奏。当時白楽天は六十七歳で洛陽に隠棲、仏道に心を寄せる日々であった。この遣唐使は既に日本でも名の知られていた白楽天の「白氏文集」も持ち帰った。

楽琵琶 — 岩佐鶴丈

第二部

『三酔人夢中酔吟』

— 李白と杜甫と白楽天 —

時空を超えて酔吟し舞い遊ぶ三詩人

盛唐の詩仙李白、詩聖杜甫、そして杜甫の死の二年後に生を受けた白楽天。この日本詩歌の歴史に多大な影響を与えた三大詩人が能舞台という「夢の離屋」で一同に会する。三人ともに詩によって世を糾そうとして容れられず三様に左遷され、深い失意を知る。

能狂言を超えて演戯する 野村四郎・櫻間金記・山本東次郎

失意のなかでも李白の詩は奔放な詩想を耀かせ、杜甫は名も無き人の苦悩に共鳴し詩は哀切を極め、白楽天は足るを知り閑雅自適の境地の詩を残す。三人ともに酒を愛すること限りなし。夢中に会し酔吟、酔舞する。

新作能舞

さんすいじん ちちゅうすいぎん



野村四郎 観世流シテ方。1936年生まれ。和泉流狂言六世野村万藏（人間国宝）の四男。観世元正、観世寿夫に師事。観世流の重鎮。三老女を披露、最近の「関寺小町」はその深い精神性で高く評価された。東京藝術大学名誉教授。芸術選奨文部大臣賞、芸術院賞、観世寿夫記念法政大学能楽賞受賞。紫綬褒章授章。



櫻間金記 金春流シテ方。1945年葛野流大鼓方瀬尾乃武（人間国宝）の次男として生まれる。野村保櫻間通雄に師事。流儀を超えた三結の会を観世流の浅井文義、喜多流栗谷能夫と結成。笠井賢一作新能能「幻」、石牟礼道子作新能能「不知火」のシテを勤めるなど新能能にも意欲的に取り組み、観世寿夫記念法政大学能楽賞受賞。



山本東次郎 大蔵流狂言方。1937年三世山本東次郎の長男として生まれる。四世山本東次郎を襲名。山本家の厳格で揺るぎのない基礎の上に自由闊達な表現を實現している。著書に「狂言のすすめ」「狂言のことだま」などがある。芸術選奨文部大臣賞、観世寿夫記念法政大学能楽賞、紫綬褒章、エクソモービル音楽賞など受賞多数。

松田弘之 森田流笛方。1953年生まれ。国立音楽大学卒業。田中一次、森田光春に師事。「娘捨」も披露し、東京の森田流笛方を代表する存在として、古典から新作能まで幅広く活躍。その音色の強さと繊細さを兼ね備えている。

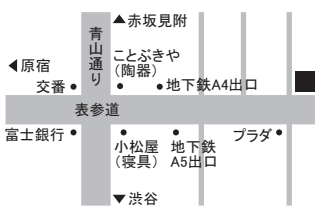
橋政愛 打楽器奏者。既製の楽器に加え、鉄片、木片、植木鉢などを用い、透明感のある独自の音の世界で演劇の音楽を創る。創作竹楽器集団「東京楽竹団」代表。

笠井賢一 1949年生まれ。今尾哲也氏（歌舞伎研究）に師事。歌舞伎俳優八世坂東三津五郎秘書として著作の助手を務める。劇作、演出家として古典と現代をつなぐ演劇活動を、能狂言役者や歌舞伎役者、現代劇の役者たちと続ける。「古事記」から「源氏物語」「平家物語」、近松門左衛門、宮澤賢治、新作能まで幅広く演出。アトリエ花習代表。

細田ひな子 衣裳・制作。山野美容専門学校卒業。衣裳デザイナー、衣裳製作、着付、ヘアメイクなど様々なジャンルを手がける。衣裳家としてはオヘアから和物まで幅広くデザイン。

2012年1月27日(金)
午後7時開演(開場30分前)
会場・鍔仙会能楽研修所

◎地下鉄表参道駅下車
(銀座線・千代田線・半蔵門線)
A4出口より徒歩3分
〒107-0062
東京都港区南青山4-21-29
TEL 03-3401-2285



※駐車場はございません。